

# 風光



## さよなら原発in愛知2013 3・3明日につなげる大集会

二年前の東日本大震災と、それにより生じた東京電力福島原子力発電所の事故。

そのことにより直接に間接に亡くなられた方への追悼、被災者の方々へ思いをはせること、そして原発を止めること。その思いを共にした皆が集まる「さよなら原発in愛知 明日につなげる大集会」が3月3日に久屋広場で行われました。

ゲストでスピーチされた増山麗奈さんは、

脱原発が進むドイツのことも例に挙げながら、「私たちが、エネルギー供給のあり方も含めた、新たな社会を作っていきましょう」「このまま、放射能により誰かを殺すことに加担することも、自分が殺され

ることも嫌です」ということを話されていました。

そして山本太郎さんは、「原発事故により起きた様々な被害が、まだまだたくさん残っている。これからも在り続けるのに」「でもそのことはマスメディアでは伝えられない」「そして、危険なこと安全なこととして収束したなんて言っている」ということも含め、原発の問題の本質的なことをガシツと鷲掴みにして差し出すような話をされていました。

福祉保育労働組合員も、それぞれの思いを抱き、参加や運営にと携わりました。(榎本)

「原発事故は、まだ収束していません」「この暴力を、みんなで止めましょう」(山本太郎さん)



左から増山麗奈さん・山本太郎さん

福保労では子どもブースを開きファスナーブローチ、ビュンビュンごま、お面、紙コップ風車を作るコーナーを設けました。コーナーの看板を見て一人一人と子どもたちで賑わいました。私はビュンビュンごまを担当したのですが、参加の子どもたちと一緒に好きなように絵を描き、こま回しを教えてくださいました。お返しに回しかたのコツを伺うなど、テントの下で大人も子どもも和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。(中川)



これからデモに出発します!

めちゃくちゃ楽しかったです!

たまたま前日、松本哉さんのお話を聞く機会があったので、デモも余計、まじめに楽しみながら、おかしな感じで目を引くようにしようと思つて挑みました。また、いろんな人とつながれたことが良かったです。山本太郎さんも、「脱原発でひとつにならなきゃ」って言うていましたね。

つながって、もう、みんなで止めなかん!なくさなかん、原発。改めてそう感じた集会でした!(外山)

それぞれの分会へ遊びブースやあすキャンブースに要員をお願いしましたが、お知らせを見て自主的に参加していた組合員が大勢いました。一人ひとりが「集会に参加す

る」「楽器を演奏して楽しく伝える」「遊びブースでコマや皿を回して、見る人を楽しませる」など、自分に出来る参加をしていました。

福保労のあすキャンPTが中心となって、小幡さんの被災地を伝える取り組みの展示もして、テントを覗いた方、一人ひとりに「バアーバキッチン」や「あすキャン」の取り組みを丁寧に話し、伝えて、納得して買っていただき、広めることができました。これが大切なのではないでしょうか。福島支援のバッチも、話すことで買ってくれ、カンパまでくれた人も多くみえました。

私達も、市民のひとりとして、被災地支援・反原発で出来ることをした集会だったと思います。知らない人同士でも、支援の気持ちを共有できました。(藤原)



あすキャンブースも盛況でした!

風の音は4面に移動しました

1月26日に、地本委員・オブザーバー・執行委員合わせて、87名の参加で第20回地本委員会が開催されました。

東海地本13春闘統一要求も賛成多数で可決され、意気高く今春闘に向かっていますことを確認しました。

また、討論での13本の発言からは「諦めない」粘り強いとりくみの大切さや「要求が原点」といった組合活動の根本を再確認することができました。  
以下発言をご紹介します。

### 7年ぶりの回交

いりなか分会 蒲地本委員  
「バザーは業務」として代休を求めていくにあたり、分会内で学習を進めてきた。「保育士が疲れて、日々の保育に影響が出ないように」という思いを粘り強く訴えていく。

10月に回交を行い、組合員から持ち帰りの仕事や保育運動なども多く、平日の休みも結局は業務をしている現状を訴えてきた。今後は理事側に大変さを伝えるために、アンケートなどをとってまとめていく。



生き生きと働きたい  
名市大分会 増村地本委員  
新しい保育所  
になって3年目。  
調理員正規2名  
化とパート職員  
の3年以上の継続  
雇用を要求し  
た。職員増は委託事業で予算が無いという回答。継続については「5年以上は継続雇用できない」と言いが根拠が明確でない。これからも地本の力も借りながら、親と共に運動していく。



### 分会の現状について かわらまち分会

新園開始と同時に縦割りの保育も始まることで、体制が変わる中、4人の病休者が出てしまった。



法人内の就業規則を統一してきたが、給料の×日など職員会で一方的に話がされ、「それはおかしい」ということで理事会に説明を求め、懇談を持つことになった。みんなに参加して、組合として発言していきたい。  
また、市の監査で、労働時間が足りていないと指摘を受け、それをどう解消していくか今後労使協で調整を行う。

「実現させる会」の報告  
ちよだ分会 清水地本委員  
「守山区に療育の場を求める署名」を先日、1万52筆提出し、その場で名古屋市と懇談をした。2014年4月に東部療育センターができるが、その後発達センターちよだがどうなるかは不明。新しい療育センターは立地場所が悪く、守山区からは通いづらいという実態を伝える。回答としては、「増加する児童デイを利用してもらう」ということで、市としては療育の場を作る考えはないことを話された。今後とも父母と一緒に市交渉などを通じて訴えていく。



### 13春闘について ゆたか支部 長沼地本委員

2月に今年度10回目の回交を行う。同じ事を積み重ねていく、勝ち取るまで続けることが大切。その結果、賞与が年0、5カ月分アップ、パート職員の忌引休暇、定年退職はその年度末までの延長などの前進を勝ち取るこゝとができた。継続は力なり。東海地本全体で全国に誇れるようにがんばろう！



支部活動を未組織へつなぐ  
けやきの木分会  
柳原地本委員  
中中村東支部では、年4回「なかトナカニューズ」を発行して、支部の交流会などをお知らせしている。ニューズには支部役員の顔が分かるように写真を入れ、返信用のハガキもつけて送る。ハガキに代表の方の名前を書く欄を設けて、その代表の人とつながりが持てるようにしている。



### 労働組合講座 かわらまち分会 矢野地本委員

今年の労働講座では、世代やベテラン・新人といった立場それぞれの悩みや思いを寸劇を通して表現し、最後にほしぎき分会の石橋さんに話をしてもらった。「若いから悩んで当たり前聞いて良いの」「中堅もベテランも自ら発信することが大事」という心に響く中身だった。また、「労働安全衛生法」な

どを紙芝居やクイズ形式で学んでからグループ討議で中身を深め、交流することができた。

### 八萬地本委員



働きだして一年目で、この講座を通して、他職場を知ることができた。勤務の仕組みやベテランの人に思いなど、楽しく学ぶことができた。

### 託児室制度について たけのこ分会 渡辺地本委員



託児室への補助金は一人月3万円。とても足りず、バザーなどもしてなんとか運営している。一時金も出ない職場だが、「子どもの育ちを大切にしたい保育」をして、生き生きと働いている。

昨年12月に保護者と共に市交渉を行い、そこで託児室制度廃止の方向が明確に出された。現在市内で2ヶ所の託児室が託児室制度を利用してはいるが、27年を目処に「新システム」に移行していく方針。しかし地域の保育ニーズは高い。市に対して粘り強く訴えてきたい。人を大切にしなない国の政策に反対！

**障害協議会総会報告**  
めいほく作業所分会

佐藤オブザーバー



障害協議会では昨年、自治体交渉や制度政策に関する国への要求、各職場交流などを行ってきた。自治体交渉に向かう中で各職場でアンケートを取ったり、就業規則の比較検討、ヘルパーの労働実態について交流するなどの活動をしてきた。

**中央委員会に参加して**

薄執行委員

福保労中央本部の中央委員会に参加して、各地の状況なども学んできた。中央の13春闘統一要求の「職場実態に即し必要な職員数は正規職員で確保すること」という項目に対し、厳しい現実の中、全ての労働者を正規

化するのには難しい状況にあるという意見もあった。東海地本でも統一要求を討議していく中で同様の思いがあった。しかし、論議を重ねることで「同じ労働者として、格差があるのはおかしい」と要求をみんなで練り上げてきた。

働き方の矛盾の中から要求が出てくる。討議を重ねた上で、地本の統一要求に正規非正規、職種の違いによる格差を是正するよう求め

た東海の統一要求は全国に先駆けている感じがする。



「あすキャン」と

「明日につながる大集会」

岡村執行委員



「あすキャン」とは「明日を灯すキャンドルプロジェクト」の略で、宮城県の仮設住宅にある「バアーバキッチン」が作ったキャンドルを全国で灯し、震災復興を願う取り組み。それを12月11日にとりくみ、3月11日にもとりくむ。当日会場に來れなくても、各分会でもとりくんでほしい。

また、脱原発を求めて3月3日に「さよなら原発IN愛知2013明日につながる大集会」が開かれる。こちらにも東海地本としても積極的に参加し、要員協力をしていきたい。

「おひさまをけなせ」

めいほく分会 入谷地本委員

めいほく保育園のすぐ横に老人ホームが立つ計画があり、



図面通りだと乳児室には11時過ぎまで太陽が当たらなくなってしまう。名古屋には子どもが通う建物の日照権に関する条例があり、事業

主は該当する施設の日当たりに配慮し、事前協議をする事になっている。しかし相手側は代理人を立て、直接話し合う事をしない。保護者らと共に「おひさまを守る会」を立ち上げて活動してきたが、このままでは裁判に発展するかもしれない。

子どもたちが健やかに育つ権利を守るために、世論を広げていきたい。ぜひ皆さんにも協力をお願いします。

**保育ネットのついで**

神田執行委員

名古屋は保育料の値上げや公立保育園を半減させ、民営化しようとしている。保育ネットとしては、様々な反対運動をしている。昨年の秋からとりくんでいる保育料値上げ反対署名は3月末まで大丈夫なので、最後まで集めきる。保護者とともに教育子ども委員を訪問し、声を届けていく。

公立保育園が民営化されたら、受託をするのは法人になるが、実際に保育をするのは私たち。本当に責任をもって質の高い保育ができるのか？ 私たち労働者が声をあげていくことが大事。みんな声を出していきましょう。



**「シリーズ・私のおすすめ」**

やまびこ福祉会

林文字さん・中村 香代さん

私達のおススメはEテレの番組「0655」と「2355」で、それぞれ6時55分からと23時55分からの5分番組です。林が「0655」を中村が「2355」を担当しておススメします。

では「0655」からいきますね。朝6時55分といえば、「今日の占い」「天気予報」と競合が高い時間にEテレに変えることはなかなか出来ないですが、そこをあえて変えてみてください。

5分間と短いですが「日めくりカレンダー」や「おはようソング」と日替わりで朝のスタートと1日を応援してくれる内容になっていますよ。家から出る時に鼻歌でつい歌ってしまいます私。♪電車で化粧はやめなはれ♪(林)

「0655」でスタートした一日も、「あー今日は仕事うまいかなかったな。」だったり、「すっごく楽しい一日だったな。」なんて過ぎていきます。

そんな一日の終わりにちよっと一息。コタツの中で、ベッドの中で、パソコンをやりながら、お酒を飲みながら、テレビをつけます。「2355の時間です♪」細野晴臣さんの歌うテーマソングに癒され、

「おやすみソング」や「ぐだぐだアニメ」「とびはぜのトビー」をぼんやりと見ながら、一日の最後をゆったりとした気持ちで終えます。

みなさん、こんな一日の終わり方、いかがでしょうか？ (中村)



中村さん(左)と林さん(右)

# 3・4 福保中央行動 届けよう「わたしの一言」

3月4日全国の福保労の仲間が集まって、国会議員訪問を行い、私たち現場の「一言」を届けてきました。

東海地本からも6名が参加し、現場実態を訴えてきました。その感想をご紹介します。

## ゆたか支部 明石恵子

今回、初めて中央行動に参加しました。

午前中は、金沢大学の横山壽一先生の新政権の社会保障政策と社会保障推進法の問題点について学習しました。

民意は反原発、反消費税、反TPP、社会保障拡充の切実な要求であるのに、安倍政権は国民の声と対立する政策を進めています。その第1弾がTPP。そして3党合意で「国民会議」という隠れ蓑をかぶせて、社会保障制度改革推進法の名のもとに、社会保障の削減を実施してきています。生活権、生存権は本人の努力とは関係ない無条件なものであるのに、自助・共助が基本、公助はそれを支援するだけだということです。憲法25条に違反している改革推進法は社会保障を解体する危

険な法律であるのです。

軍事大国化となる集団的自衛権を許さない。生活保護削減、生活権侵害を許さない。安倍政権の矛盾を参議院選挙前に争点化させ、自民党の争点隠しを打破する大きな運動にして、国民の多数派にしていくことが必要だという緊迫した気持ちになりました。

今回は学習会と議員さんへの訴え、田村議員さんの感動する連帯のあいさつと署名提出、団結がんばろう、とたくさんの体験をすることができました。この体験を生かして、大きな力にしていきたいと思っています。ありがとうございます。

## みなと福祉会分会 鶴山彰子

私は、普段ケアホームで不規則な勤務に就いていることもあり、自分の組合の分会にも参加がままならない状況でした。

また、恥ずかしながら情勢の動向にも積極的に触れることもなく、今自分が自分たちの職場がどういう流れのなかにいるのか具体的なイメージも危機感もありませんでした。

午前中に学習会で社会保障政策を中心に講義をしていただき、新政権の政策、戦略やその問題点について学習しました。今すぐめられている経済政策は一時的に効果がみられているようですが、それは6月の参院選にむけた実績作りであって、長期的にみればデフレがデフレを呼び込む構造になっているということがわかりました。

午後からはペアになり議員さんを回って紹介議員の依頼や現場の現状を伝えてまわりました。本会議中だったので秘書の対応でした。初めての議員まわりで上手く理論立ててお話

できず、ちゃんと現場の声を伝えられたのか不安でした。これから参院選にむけて、いろいろな政策がすすめられていくと思います。その内容や政府の動きについて、利用者だけでなく、自分たちの生活を守るためにしっかりと目をむけていきたいと思っています。



社会保障制度を守り、誰もが安心して暮らせる社会を目指して、ガンバロー！

【編集後記】 今回の風光るは、「明日につなげる大集会」や「福保中央行動」などみんなで行動する記事の特集が組まれていましたね。私も先日、行動しました。

最近、私の保育園で財政活動の一つでパンを売りました。その時ちようど、「保育料が上がる」という動きがあったので、パンを売ることに一緒にこのことについて反対意見を出していこう！ということになりました。お迎えにみえた父母の方々に「保育料が上がるかもしれない」「第3子の保育料が無料ではなくなるかもしれない」と話したところ「えっ！こんなに高くなるの?!」と

ビックリされていた方や「えっ！この子(3人目の子)を産まなかったことにはでんよ」と冗談交じりではありますが本当に困ったようにおっしゃっている方がいました。子どもを保育園に通わせている人達からお金を取るなんてひどい。保育制度を色々と変えようとして、保育園をなんだと思っているのかと感じました。保育士になって3年目になりましたがまだまだ情勢のことについて詳しくと理解は出来ていないので、執行委員会で情勢を学んだり、学習会に参加したりしていきたいと思っています。学んだことを保育園の父母の方に「今の保育園の制度」を伝え、行動して行こうと思います。(K・K)

## 「風の音」

先日、一歳児クラスの子どもたちとお散歩へ行ったとき、テラスに出てから忘れ物をしたことを思い出しました。一緒にいたMちゃんに「先に着と靴下をはいて待っててね」と上着と靴下を渡して忘れ物を取りに戻りました。取って戻ってると、一緒に行くパートさんに「Mちゃんの靴下ありますか?」と聞かれ「え?..さっきMちゃんに渡しましたよ」と言いつつ探してみますが見つからず。「Mちゃん、靴下は?」と聞いてみると「カラスがもってっちゃった!」ととびきりの笑顔で答えてくれたMちゃん。

そんなことはないだろ(な..)と思いつつも、Mちゃんのとびきりの笑顔に「そっか?じゃあカラスさんに会ったら返してもらおうね」と話しながら公園に向かいました。

公園に着くとタイミンク良く木の上にカラスの姿が、「カラスさん、Mちゃんの靴下知りませんか?」と聞いてみるとカラスは「..」。Mちゃん、カラスさん知らないみたいだね」と話し、遊び始めると遊んでいるうちにすっかり靴下のことを忘れていました。

「帰ろうか?」という頃になってなんと、靴下を発見!Mちゃんの上着のフードの中に入っているのを見つけた。パートさんと「自分で入れたのかな?」と顔を見合せながら思わず笑ってしまいました。そのまま急いで帰ってしまいました。カラスさんが返してくれたね」と言ってくれたら、と後から思った出来事でした。カラス